

3. 新たな時代にふさわしい「食と健康」に係るシンポジウム

3. 新たな時代にふさわしい「食と健康」に係るシンポジウム

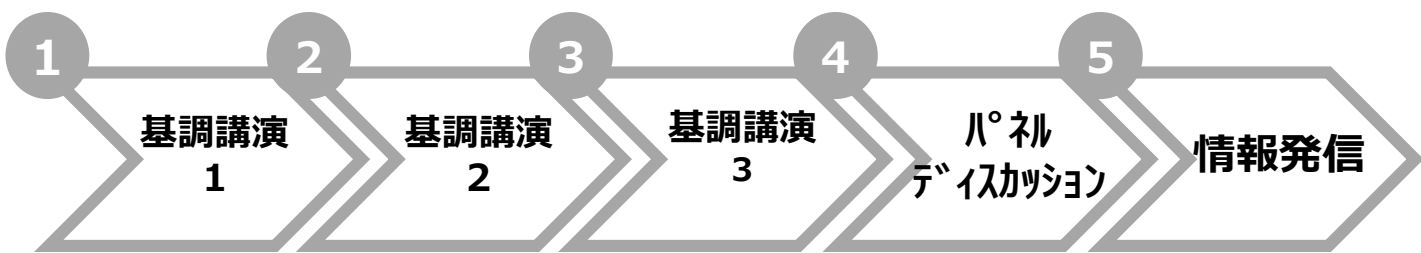
(1) 開催趣旨

平成25年（2013年）12月、和食がユネスコ無形文化遺産に登録されてから、我が国が長寿世界一である秘訣は「健康に良い和食」にある、など世界的に注目を集めているものの、その一方で近代化と食生活の西洋化により、日本でも成人病や生活習慣病が喫緊の課題となっているのも事実である。また、人生100年時代に突入し、世界一の長寿社会を迎えるにあたり、医療費の削減の観点からも、「健康寿命」を伸ばすことが課題となっている。

新たな時代にふさわしい「食と健康」のあり方の検討にあたり、最新の研究事例や取組事例について調査を実施するとともに、有識者を招いてシンポジウムを実施し、SNS、新聞、雑誌等の様々なメディアを活用して広く国民に最新の知見と情報の発信を行った。これらを通じて、「食」による「健康」の実現のため、国民の食の改善への実践と農林水産業・食品産業の機運の醸成につなげていくこととした。

(2) プログラム

本シンポジウムの開催により、聴講者が、「食と健康」の重要性についての再認識し、実践や行動に移すことができるようにするため、有識者による基調講演とパネルディスカッションにより、最近の先進的な事例や専門的知見を紹介し、今後、新たな時代の「食と健康」の方向やあり方についての理解を深めることとした。



3. 新たな時代にふさわしい「食と健康」に係るシンポジウム

(3) 基調講演登壇者

基調講演 1

未来の食と健康のあり方



一般社団法人メディカルライス協会 理事長 (医学博士) 渡邊 昌氏

慶應義塾大学医学部卒業(病理学) 国立がんセンター研究所疫学部長のとき、がん情報センター設立に取組。糖尿病になり食事の重要性を体感。国立健康・栄養研究所理事長、(公社)生命科学振興会理事長を歴任。著書に、「薬なし食事と運動で糖尿病を治す」(講談社)など。

基調講演 2

食によるヘルスケア産業の創出



国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
ヘルスケア創出研究統括監 山本(前田)万里氏

機能性食品、抗アレルギー緑茶開発研究等に従事。知の集積と活用「セルフ・フードプランニングプラットフォーム」の代表、内閣府戦略的創造イノベーションプログラム(SIP2)の食によるヘルスケア研究の研究代表者として、食を通じた健康長寿社会の実現を目指した活動を展開。日本農芸化学会学術活動強化委員会委員長、日本食品免疫学会評議員。

基調講演 3

腸内細菌と身体に優しい発酵食品



フードメディシンネットワーク代表 辻 典子氏

腸内細菌や食物など「腸内の環境成分」が免疫機能を整える仕組みを研究。なかでも「腸から全身に波及する抗炎症のメカニズム」は、アレルギー、認知症、がんなど多くの慢性炎症疾患制御に繋がる可能性があり重点を置いている。また、フードメディシンネットワークにおいて、地域の人々の健康的な暮らしを支えてきた伝統的な食を評価する試みも開始。

3. 新たな時代にふさわしい「食と健康」に係るシンポジウム

(3) パネリスト（敬称略）



農林水産事務次官 末松 広行氏

農林水産省入省後、2002年食品流通局企画課食品環境対策室長、2002年総理官邸内閣参事官、2006年大臣官房環境政策課長、2007年大臣官房企画評価課長、2008年大臣官房食料安全保障課長、2009年大臣官房政策課長、2010年林野庁林政部長、2014年関東農政局長、2015年農村振興局長、2016年経済産業省産業技術環境局長を経て、2018年7月から現職。



尾畑酒造株式会社 専務取締役 尾畑 留美子氏

「真野鶴」五代目蔵元。大学卒業後、映画会社勤務を経て、生家の蔵を継ぐ。佐渡の廃校を仕込み蔵として再生させた「学校蔵プロジェクト」では、佐渡産の米と再生エネルギーを導入して酒造りを行う。「新潟女性活躍アワード2019」を受賞。清酒専門評価者、きき酒マイスター。



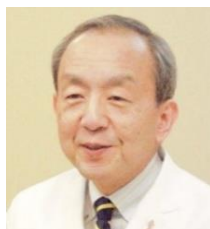
株式会社パソナブルー プ 代表取締役 グループ代表 南部靖之氏

1976年、「家庭の主婦の再就職を応援したい」という思いから、大学卒業の1ヶ月前に起業。人材派遣システムをスタート。以来“雇用創造”をミッションとし、新たな就労や雇用のあり方を社会に提案、そのための雇用インフラを構築し続けている。新規就農者の育成支援など国内外に向けた新しい農業の情報発信にも注力。著書に「これから『働き方』はどうなるのか」（共編／PHP研究所）など。



株式会社おいしい健康代表取締役CEO 野尻 哲也氏

株式会社UNBINDを設立し、新聞社、出版社、IT、プロ野球球団、などの経営コンサルティングを行う。その後、クックパッド株式会社ヘルスケア事業部長などを歴任。2016年に、株式会社おいしい健康を設立。著書に、日本経済新聞出版社「成熟期のウェブ戦略」など。



医療健康科学研究所 所長（医学博士） 信川 益明氏

慶應義塾大学大学院医学研究科博士課程修了。慶應義塾大学医学部教授、医療法人社団千禮会理事長、一般社団法人日本健康科学学会理事長などを歴任。著書に、「食品保健の科学」（丸善）、「プライマリケア医の1日」（南山堂）など。厚生労働省化学物質リスク事前評価委員会委員。千代田漢方内科クリニック院長。